

# 漂着物アート展

2015

作品一覧

平成 27 年

6 / 4 木 ~ 6 / 22 月

9:00 ~ 17:00 休園日：火曜日

会場：氷見市海浜植物園

1 階特設ギャラリー（入場無料）

プロデュース／富山大学芸術文化学部 後藤 敏伸

【主催】（一財）氷見市花と緑のまちづくり協会、(公財) 環日本海環境協力センター

【後援】 富山県、富山大学芸術文化学部、(公財) とやま環境財団

【協力・作品制作】 富山大学芸術文化学部

流木は川から流れ、海に出る。  
長い時間をかけ、海の記憶を私のところまで運んでくれる。  
海は、領海はあれど、どこまでも繋がっている広い広い世界。  
境のない世界で生きる人魚。  
そんな人魚が運んでくるのは様々な心情。  
自分が置かれている環境の現状、変えるための努力、未来に対する憧れや不安。  
理想と現実が入り混じる環境への思い。  
その思いを今、ここに。

2014年最優秀賞 長浜 里美  
「Timeless memories」





## 立 脚 ～ 漂 流 の 終 焉 ～

上 不 大 輝

この作品は、一人の漂流者が自立を表明するために制作したものである。

漂着物とは、流されるままにこの場所まで辿り着いた物である。それは数年間、傍観者としてフラフラと過ごしてきた私自身と重なる所があると思った。つまり、流木やごみなどの漂着物と針金を組み合わせて表現したのは私自身なのである。

この作品には、漂流を止め、自らの足で立つというメッセージが込められている。支えであるイスは、これまでいた場所を表している。

最 優 秀 賞

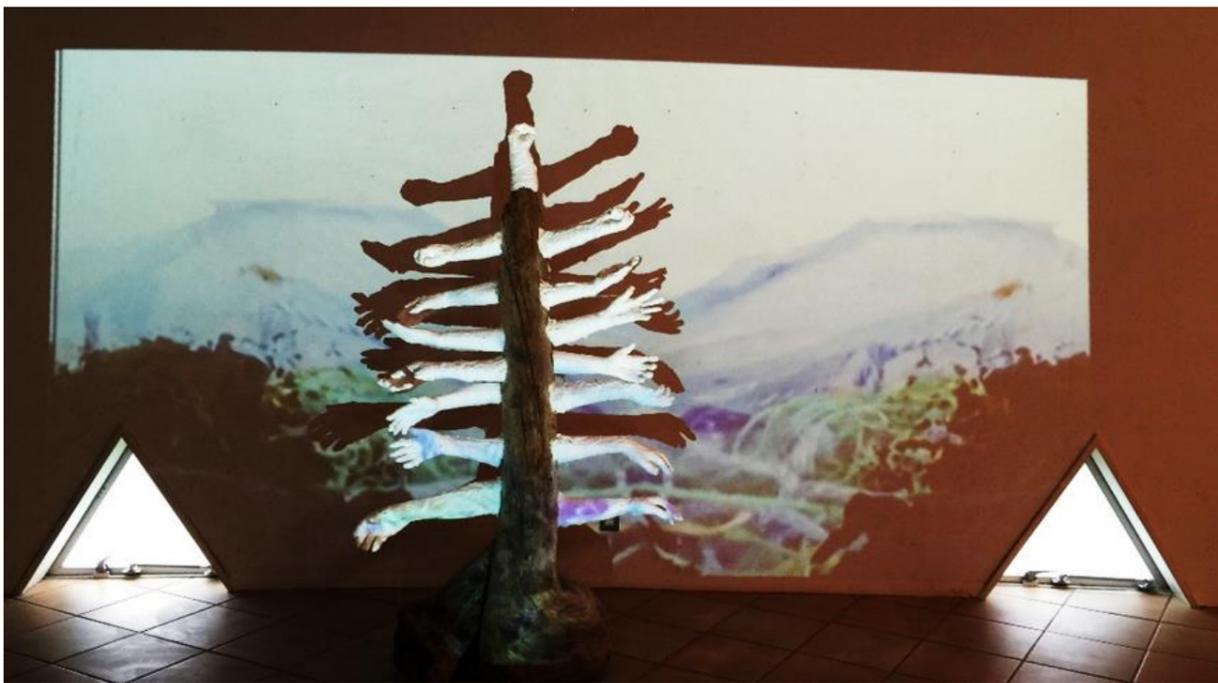


支配 岩滝陸王 佐藤弘隆 中村豪

長らく自然と生物は共存してきた。

しかし現在、私たち人間と自然はその関係にあると言えるだろうか。

優 秀 賞



Plenty of handy things

Eva Jašková

white and clean are our hands

sea of garbage

we produce by them anyway

便利なものがあふれて

エヴァ ヤスコヴァ

白く清潔な物体は私たちの手

ごみの海

私たちは、とにかくこの手で作り出す。

優 秀 賞



口

能村 奈央

海は漂う物の入口

海は漂う物の出口

海は吸い込む

海は吐き出す

海は地球の口

奨励賞

## 「溢れる命の行き着く先」

水野 千佳子



この作品は海で生まれた命とその終わりを表しています。海辺に漂着した木片はどれも面白い形状をしていました。私はそれらが岩のように見えたため岩礁に見立てました。

木片の上にあるバケツは命を入れる器、つまり海を表現しています。そこから溢れだす網は水の流れを表し、また、命の旅を表現しています。バケツは命の始まりを表しているのに対し、網の先は墓標に見立てた木片を置き、旅の終わり、命の終わりを表現しました。

奨励賞



## 海のれん

熱田 季音

海の中、水の表、ユラユラゆられ、たどり着いて、  
いったいどこから来たのだろうか。

この流木は何度雨に打たれただろうか。

漂流物をからめて、引っかけて、

海を旅した漂流物でのれんを作りました。

流木には雨のあとを貼りました。

家にあったら素敵だなあとと思います。

奨励賞



## 海の雨

江越 知比呂

浜辺には  
たくさんの地球が  
呼吸するのを邪魔するものが打ち寄せて  
息もできずに  
涙がこぼれます  
テープを巻きつけて  
その苦しさで雨の色彩を表現しました



## 泡沫

佐藤 真衣

美しい海は私たちの行いひとつで簡単に失われて  
しまいます。  
今回は、水面に浮かぶ泡と儂く消えやすいものと  
いう両方の意味を持つ「泡沫」という言葉をイメ  
ージして流木をペイントしました。



## 色

野路 朋生

浜辺の砂の中に様々な色が混ざっています。  
それは綺麗と感じる貝やシーグラス。  
それに対して、  
プラスチックやシーグラスになる前のただ割れたガラ  
スなど、ゴミと捉えられる物もあります。  
持っている色は一緒でも感じる色は違うことを感じ、  
制作しました。



## 海が いっぽん

加納 萌子

枝が一つ。  
海星が一つ。  
だれかが使ったそれが一つ。  
だれかのそれが一つ。  
海にある。  
海の匂いがする木が一本。



## 海がき (こ) える

各務 春菜

海の音が出るハーブに漂流したゴミが集まり迫ってくる様子。  
キレイだったハーブがゴミで汚され、朽ちて、消えそうな  
イメージで制作をした。



## chrysalis

Eva Jašková

need of change to another stadium

---

## さなぎ

エヴァ ヤスコヴァ

場所を変える必要がある



## 追い求める

西村 早代

人の手に近いけど人じゃない。  
木だけでも木ではない。  
そんな不思議で少し傷ついた、諦めない手。  
木の自然な造形で筋肉の流れや完璧にかためすぎないこと、  
不器用さを意識して製作しました。



## 私達が捨てたゴミ

宮原 菜緒

漂着ゴミと聞くと、  
海外からたどり着いたものというイメージがありますが、  
日本語のパッケージを見てもわかる通り、  
私たちが出したゴミが氷見の海岸に流れついてしまっています。



## コクーン

宮下 大輝

鳥の巣の様に中の空間を守る。  
細かく か弱そうな3本の足は  
思いもよらない力を持っていた。

県内をはじめ国内の海岸に流れ着く多くの漂着物（漂着ごみ）、そして、日本国内からも流れ出ていくたくさんのごみ（漂流ごみ）…きれいな海岸の景色を損なうだけでなく、海に暮らす生き物や漁業への影響も心配されます。

こうした海洋ごみのほとんどが身近な生活ごみであることを、皆さんご存知でしたか？私たちは、知らず知らずのうちに大切な海を汚しているのです。きれいな海を将来に残していくためには、私たち一人ひとりがこのことを理解し、身近なごみをきちんと始末するなどの取組みをすぐに始める必要があります。

このようなことから、次の時代を担う青年芸術家が海岸漂着物を利用して制作したアート作品を展示する「漂着物アート展 2015」を開催いたします。

このアート展をきっかけとして、私たちの大切な海を守るために何をすべきか考え、みんなで行動してみませんか。

